

当社の取り組みについて

ソフトバンクモバイル株式会社

CO2排出関連

目次

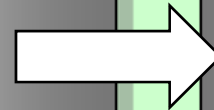
1. **自主的取り組みへの参加者の拡大・目標の設定**
2. **低消費電力機器等の導入推進**
3. **環境に配慮したビジネスモデルの確立**
4. **取り組みの効果の可視化**
5. **グリーン電力の利用拡大**
6. **国への要望等**

1. 自主的取り組みへの参加者の拡大・目標の設定

① 自主的取り組みへの参加者の拡大

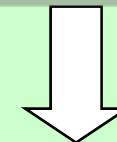
社内体制の変更 現状

- ネットワークセンター
- 事業所(本社・部門)でのISO14001(EMS)認証
- 各事業所での個別対応



新体制

- 全社体制への変更
- 全事業所への拡大
- 経営トップを頂点とした推進体制の構築
- 各部門の目標設定



②目標の設定

2007年度実績： 99万トン対前年度 6%増加

※SBM,SBTM,SBBの3社合計

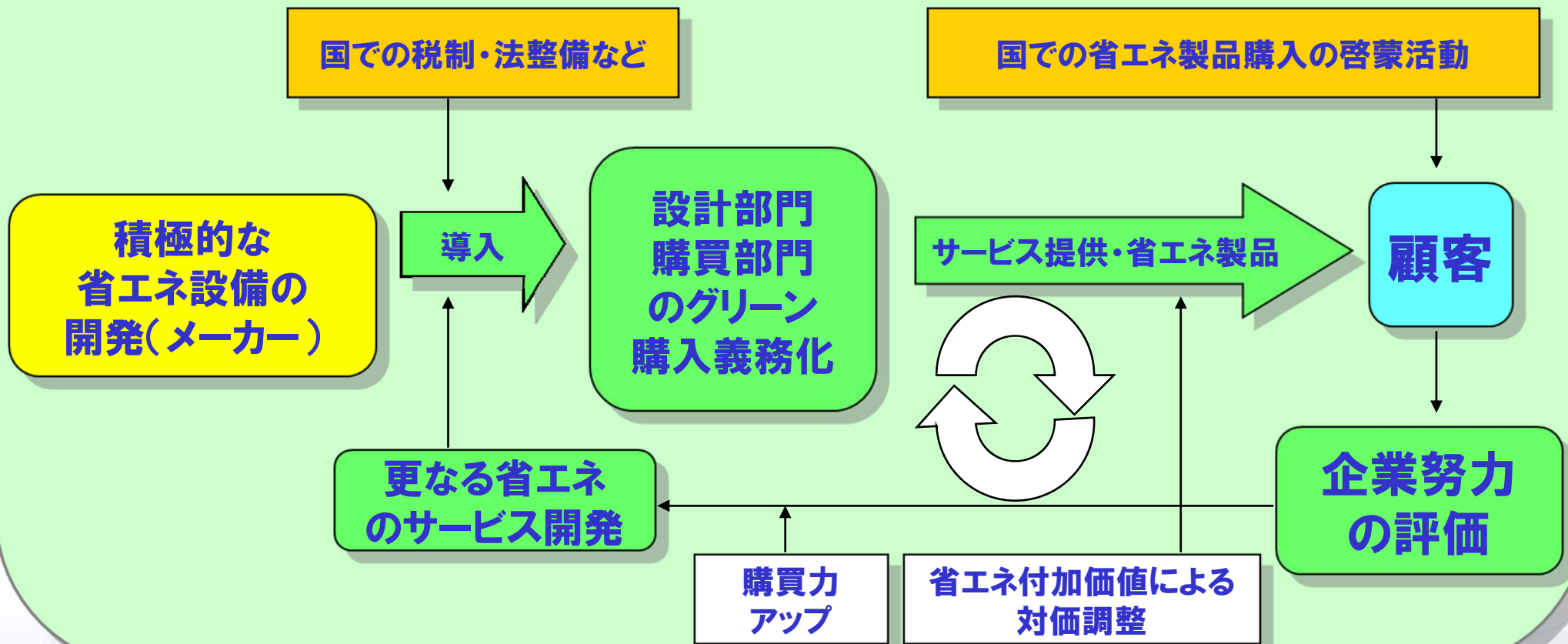
**2008年度に対して2011年度
の想定されるエネルギーを
17%削減する。**

2. 低消費電力機器等の導入推進

- ① 新規調達及び設備更改時における開発部門及び購買部門でのグリーン調達をルール化する。
- ② 全社的なエコ活動の浸透と啓蒙活動。
 - ・エネルギー管理士、管理員研修への参加。
 - ・ISO14001内部監査員研修への参加。
 - ・条例等の省エネ説明会への参加。

3. 環境に配慮したビジネスモデルの確立

① 社会構造的な省エネ・サイクルを目的としたビジネスモデルの構築。



4. 取り組みの効果の可視化

- ① 全ての事業場での環境影響(CO2排出量換算)を把握し、事業場単位での環境影響を確認できる仕組み作りの推進。
(社内のデータ可視化で、社員の取り組みへのモチベーションを向上)
- ② CSRreportやHP等での取り組みの事例と環境影響(CO2排出量換算)の一般公開を定期的に行う事を検討。

5. グリーン電力の利用拡大

- ① 基地局等への太陽電池発電設置の拡大検討と大規模機器室へのコージェネシステムの導入検討。
- ② 電力供給会社と連携した風力、地熱、その他のグリーン電力の検討。



6. 国への要望について

- ① 事業者の積極的な省エネ設備投資に対する税制・法整備などの政策の実施。
- ② 省エネ機器導入による、利用料金への反映に対する社会的なコンセンサスを得るための啓蒙活動の実施。
- ③ 省エネ機器の新規導入の評価基準を明確化し、公正な統一評価の実施。
- ④ 他社との設備共有による効率化。
- ⑤ 省エネ機器の設計において、バックアップバッテリーなどの低減。
- ⑥ PUE (Power Usage Effectiveness) などの原単位の標準化。
。 業界全体の数値目標の統一。

リサイクル関連

3Rの取組(リデュース)

請求書・申込書⇒電子化(一部)

個別包装箱⇒小型化

2007年4月より

- ・紙に代わって「オンライン料金案内」を導入。
- ・従来の申込書による受付をやめ、オンライン受付を開始。
- ・携帯電話販売時の個別包装箱の小型化を推進し、容器率47%削減を実現。



卓上充電器の同梱廃止


2007年12月より

充電器の規格統一により付属品としての取扱いを廃止
必要な場合は、別売り


取扱い説明書薄型化

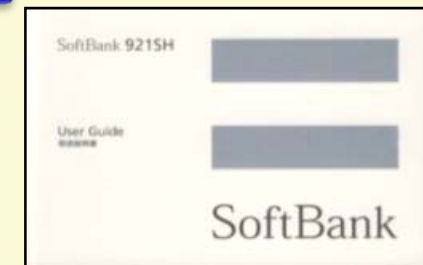
2008年11月より一部の端末から

従来の取扱説明書1/3サイズにリニューアル。
詳しい説明はWebでご案内。

 簡易取説 (約100p)
名称：使い方ガイド



 取説 (300p)



3Rの取組(リデュース)

長期間の端末利用を嗜好する利用者向けの端末導入

- **飽きのこない**、洗練されたデザイン
- **傷がつきにくい**、塗装・コーティング処理
- **劣化しにくい**、大容量電池の使用
- 機能が**陳腐化しない**仕組み(アプリダウンロードの方式)
- 遠隔での**端末機能アップデート**



3Rの取組(リサイクル・個人)

「ケータイの回収」の呼びかけ

★スタッフ

使用済の端末はいかがなさいますか？
ご不要の**端末の回収**を行っております

●お客様

データが移っているか不安なので、**持って帰りたい**のです

★スタッフ

端末の回収はソフトバンクショップでいつでもお受けしておりますのでお持ちください

端末回収について店頭で説明します。

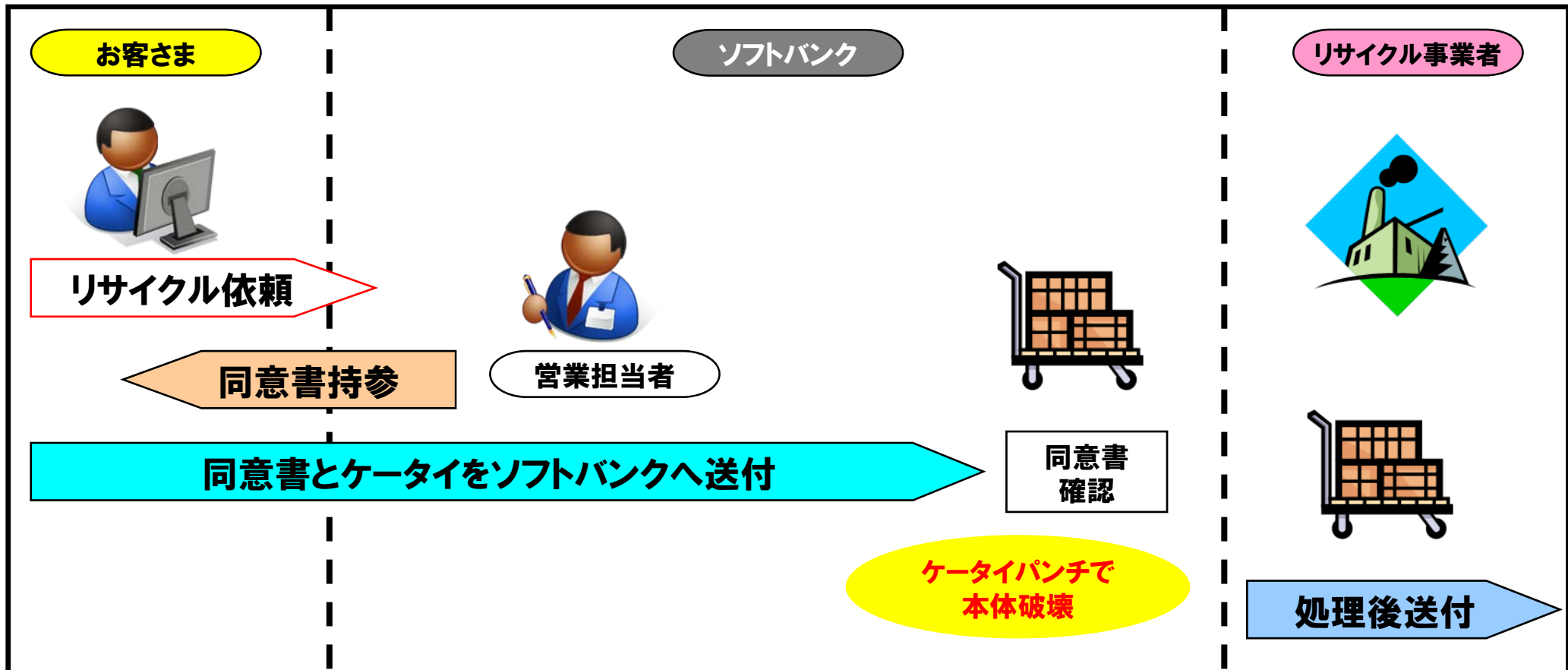


回収

ブランドやメーカーを問わず回収します。**ケータイパンチ**で**破碎**し**個人情報**を保護します。

SBショップ

3Rの取組(リサイクル・法人)



お客さまからリサイクル依頼を受けた場合には、同意書の記入。

- ・ リサイクルするケータイの**所有権の放棄**
- ・ ケータイにある**データ消去**してあることの**確認**

3Rの取組(セキュリティー対策)

個人情報漏洩の心配はありません。

端末破砕機による本体基盤の破壊。

※端末回収に絶対必要な作業。

①データの退避後、
オールリセット初期化



②本体と電池を分離後、
ケータイパンチへ



③本体の破壊



※ ①については、お客様に行っていただきます。

3Rの取組(データ・コンテンツの移行)

現状

- ・通信規格が同一の世代(例、3G⇒3G)において、概ねデータ・コンテンツの移行は可能
 ※移行する端末が夫々各サービスに対応していること
- ・移行手段として外部記録媒体(SDカード)が利用できる
- ・著作権のあるデータ・コンテンツは著作権管理機能(DRM)を利用することで移行させることは可能
 ※著作権管理機能:著作権者側の設定により端末間の移行を管理(移行可否、再生期間・回数などの利用条件)することができる機能
 ※著作権の付与されたデータが移行できる条件は同一利用者(契約者)に限定される

<凡例> ○:可能 △:条件つきで可能 ×:不可

	メール	電話帳	予定表	画像 (写真)	音楽 (着メロ、 着うたなど)	動画	ゲーム (Java)	電子書籍	電子マネー
端末間の移行 ※自社間	○	○	○	○	△ (SDカード経由のみ)	△ (SDカード経由のみ)	×※1	△ (SDカード経由のみ)	△ ※提供者側の仕様によりサーバを介する場合
著作権管理機能 による制御	/	/	/	可	可	可	不可	可	/

※1:SDカードへの移行は可能(但し、SDカードを経由した端末間の移行及び動作は保証していない)

課題

■ 技術的課題

- ・移行できた場合でも端末間の仕様の違いなどにより動作しない場合がある。
- ※概ね移行するための環境は整備されている。

■ 運用的課題

- ・お客さまご自身によるデータ移行。
- ※ショップなどで販売員によるデータ・コンテンツの移行は行っていません。

3Rの取組の更なる推進(リユース)

＜部品リユースの可能性＞

カメラ・液晶・スピーカは電子部品へのリユースの可能性があります。

＜部品リユースの課題＞

カメラ・液晶・スピーカ

- ・手分解作業による回収
- ・液晶は取扱いが難しい
- ・再利用ニーズ

※現時点は液晶のみ流通している。



手分解後の端末



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

3Rの取組の更なる推進(リサイクル)

今まで使っていたケータイ

販売時の呼びかけ ⇒ 販売員への教育
お客様の周知

家でストックしているケータイ

ケータイリサイクル ⇒ ケータイ回収成果の共有
協力への動機付け

自然保護
何か役立っている

「WWF 南西諸島生きものマップ」プロジェクトについて



(C)WWF JAPAN



(C)WWF JAPAN



(C)WWF JAPAN